

オリジナル科目



西宮・ヒト・ココロ・未来をデザインする「アイデアをカタチにする」 Lifestyle Design Of Nishinomiya Citizens II

科目提供大学名	大手前大学
担当教員	山下 真知子（客員教授）他 4 名
単位数	2 単位
最大授業定員	40 名
開講学期	後期 4 時限（17：50～19：20）金曜日（9月27日～1月17日、12月25日～1月7日は冬休み期間）
成績評価	毎回の授業後コメントの提出：30% ワークシート課題：30% 最終課題 レポート及びプレゼンスライド：40%
テキスト	特になし
参考文献	特にないが、担当教員の推薦資料に沿う
授業以外の学習方法	特にないが通常時から自身の生活周りを意識しておくこと
その他の特記事項	※1.「デザイン思考」で考えるワークショップ体験が続くため、必ず毎回出席し、ワークシート課題を提出することが望ましい。 ※2. 本授業は(1)基礎編「DX社会の現状を知る」、(2)実践編「アイデアをカタチにする」の2つの編からなるため、(1)基礎編(2)実践編(計2科目：4単位)を受講することが望ましい。
講義概要	本授業の基礎編ではデジタル技術で社会や生活の形を変えるDX化社会を展望することができたのではないだろうか。そこで本実践編ではワークショップを通して私たち自身がユーザー視点に立ちDX化によるサービスや製品の本質的な課題を「デザイン思考」によって解決することを試みる。ワークショップには、西宮市を聖地とする「涼宮ハルヒ」に参加してもらい、皆さんの斬新なアイデアを具現化する方法をカタチにし、西宮市に提案する。
到達目標	本授業は現在の社会現状と課題を知ることによって私たち一人ひとりがDX化社会とどのように共存し快適な生活の質を獲得する地域民としてあるのが望ましいのかを考え、自分なりの方法や手段を見つけることを目的とする。
授業計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> ガイダンス・アイスブレイク (山下 真知子) デザイン思考によるサービスデザインの全体像 デザイン行動の理解とフレーム理解エクササイズ (近畿大学 商学部教授 廣田 章光) デザイン思考によるサービスデザインの実践 観察法・アイデアクリエーション理解とエクササイズ (近畿大学 商学部教授 廣田 章光) デザイン思考によるサービスデザインの創造 デザイン思考に基づく実際のビジネス事例 (武庫川女子大学 経営学部教授 宗平 順巳) ■ 課題レポート『魅力ある西宮のデザインアイデア』 DX社会における具体的なコミュニティデザイン事例 ① スマートシティ構想『ふるさと納税の手法と事例』 (武庫川女子大学 経営学部教授 福井 誠) (ゲストスピーカー：株) 80 & Company 堀池 広樹)

6. DX社会における具体的なコミュニティデザイン事例②
 スマートシティ構想『アニメビジネスの手法・事例とライセンス』
 (武庫川女子大学 経営学部教授 福井 誠)
 (ゲストスピーカー：株) アニキャン 中田 辰也
7. デザイン思考ワークショップ
 WORK1：アイデアの発想・発散ブレインストーミング
8. デザイン思考ワークショップ
 WORK2：アイデアの収束・選択 コンセプト／ペルソナ設定
9. デザイン思考ワークショップ
 WORK3：プロトタイプ作成・アイデアのビジュアル・具体化
10. デザイン思考ワークショップ
 WORK4：中間プレゼン
11. デザイン思考ワークショップ
 WORK5：ブラッシュアップ・方向性整理
12. デザイン思考ワークショップ
 WORK6：プラン全容のビジュアル化
13. デザイン思考ワークショップ
 WORK6：プラン全容のビジュアル化
14. デザイン思考ワークショップ
 WORK6：プラン全容のビジュアル化
 7～14 (山下 真知子・近畿大学 経営学部講師 仙波 真二)
15. 具体的なプランのプレゼンテーション
 まとめ・リフレクション

「西宮・ヒト・ココロ・未来をデザインする「アイデアをかたちにする」」

【更新履歴】

1. 第8回～12回の担当者変更 (2024.6.26)
2. 第8回の担当者変更 (2024.7.9)
3. 第7回～12回の担当者変更 (2024.8.6)
4. 授業計画「内容テーマ」一部変更 (2024.9.19)

担当教員紹介（提供大学別）

1. プロフィール（自己紹介）
2. 先生ご自身がこの専門分野の研究を選ばれた理由とその魅力について
3. 講義の特徴や進め方、講義を通して学生に学んで欲しいことや伝えたいこと
4. 受講を希望する学生への一言

大手前大学

「西宮・ヒト・ココロ・未来をデザインする」

オリジナル科目

（前期）「DX 社会の現状を知る」（後期）「アイデアをカタチにする」



【代表】山下 真知子（客員教授）

博士の専門分野は環境色彩心理およびデザインですが、修士では教育工学という「わかる授業の組み立て方」や「感性教育」を研究していました。学生が面白いと思える授業とは消費者が魅力的に思い、手に取るヒット商品のようなものだと考えています。今回、現在今後とも避けることができない「DX」というキーワードから多岐にわたる領域の先生方に参加を呼びかけ魅力的な授業を目指しました。今、大学教育として一番に学ぶべき内容であることから、皆さんにとって有意義な授業体験になることを切に願っています。

DX進展社会によって変化する私たちの暮らしを知るために、さまざまな領域からアプローチします。知らなかったことを共有しながら知っていくためにワークショップ形式も取り入れています。積極的に楽しんで参加し学生自身が今後どう生きていくのか考える機会を作ります。

【前期 担当講師】*講義順



中塚 貴志（株式会社フォーシーカンパニー取締役）
そもそもDXって？自分なりの答えをもつ
思考法を身につけよう！



巳波 弘佳（関西学院大学 工学部 教授）
DXを進めるために技術を活用するスキル
を身につけましょう！



坂倉 孝雄（大手前大学 経営学部 准教授）
持続可能な地域の産業とはどんなものか。
一緒に考えよう！



三浦 欽也（神戸女学院大学 人間科学部 教授）
AI は人間を超えて賢くなるのでしょうか。
共に考えてみましょう。



原 哲也（関西学院大学 建築学部 教授）
デジタルと建築、その相性について考え
てみよう。



藤本 幹也（大手前短期大学 教授）
ユニバーサルデザインの現状や、課題に
ついて、受講生の皆様と有益な情報を共有
できる授業にしたいと思います。



藤井 博志（関西学院大学 人間福祉学部 教授）
暮らしの主体者としての地域住民が生活
の場を福祉的な場に創っていく自治的活
動やその考え方を学びながらDXとの関係
を考えよう。



柴田 学（関西学院大学 人間福祉学部 准教授）
“手づくり”と“DX”を掛け合わせた地域づく
りの展開を探求したいと思います。



岩坂 二規（関西学院大学 教育学部 准教授）
今、世界をともに生きる主体としての「わ
たし」を考えましょう。